

奈良文化高等学校 スクール・ポリシー

I アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

《自己変革を追求する生徒》

①入学者に求める生徒像

奈良文化高等学校は、文化財に恵まれた歴史的風土と緑に囲まれた環境を活かし、日本文化の原点である奈良文化を基礎として教養を深め、心身共に健やかで豊かな人間性を有し、地球規模、持続可能な視点で考え、行動する未来志向の人を求めます。

②入学者に求める能力・意欲

奈良文化高等学校への入学を希望する人は、下記の能力・意欲が求められます。

【普通科・衛生看護科】

- ・安定した基本的な生活習慣(服装・挨拶・言葉遣い)を基盤にして誠実に学校生活に取り組み、自己の可能性を追求に精励する生徒
- ・中学校で全ての教科の授業をバランスよく受け、高校で学習するための基本的な思考力・判断力・表現力を身につけている生徒
- ・学習内容が高度化・専門化する高校の授業に対して、学習する意思と意欲を持ち続け、学ぶ楽しさを感じることもできる生徒
- ・学習活動だけでなく、積極的に学校行事や課外活動に取り組むことができる生徒
- ・中学校の学校行事や部活動、生徒会活動等に前向きに取り組む、他者への感謝や思いやり、礼儀、挨拶などの基本的なことから身につけている生徒
- ・自分の個性を大切にするとともに、他者の個性も尊重し、積極的に他者と協働して、問題の解決を図ろうとする生徒
- ・自ら定めた進路目標の実現に向け、普通科各コースのグラデュエーション・ポリシーでかかっている能力を身に付けることを強く希望し、その気持ちを持続させる意欲を持っている生徒（普通科）
- ・准看護師資格の取得とともに、衛生看護専攻科のグラデュエーション・ポリシーでかかっている能力を身につけることを強く希望し、その気持ちを持続させる意欲を持っている生徒（衛生看護科）

【衛生看護専攻科】

- ・准看護師としての基礎的な知識と技術を修得し、看護学を学ぶために基礎的な知識（国語の読解力や言語活用能力、数学の計算能力など）・技能を身につけている生徒
- ・社会や地域の医療、健康、福祉に貢献する看護師として必要な責任感や協調性を持って、目標の実現のために努力を惜しまず、何事にも最後まで主体的に挑戦する意欲のある生徒
- ・自分の個性を大切にするとともに、他者の個性も尊重し、積極的に他者と協働して、チーム医療を担う意欲を持っている生徒
- ・看護師資格の取得とともに、衛生看護専攻科のグラデュエーション・ポリシーでかかっている能力を身に付けることを強く希望し、その気持ちを持続させる意欲を持っている生徒

Ⅱ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

《主体的・次世代対応の学び》

①基本方針

次の時代を見据え、基礎学力と幅広い知識や教養を身に付け、豊かな情操と他者への想像力、社会性を持った生徒を育てることを教育活動の基盤とし、生徒一人一人の個性や資質・能力、適性に応じた、多様な進路を実現するための教育課程を編成する。

・確かな基礎学力と幅広い知識・教養の育成

各教科・特別活動を通じて、主体的・対話的で協働的な学びを実現する。

・探究的な学びの充実

課題研究や各教科の学びを通じて、探究的な学びを充実させる。

・情報教育の充実

ICT 機器を適切に用いて、高度情報社会に対応できるよう、情報活用能力を育成する。

②普通科

Ⅱ類

看護医療特進コース

- ・難関大学やコメディカル養成校へ受験、進学できる学力を身につけさせる。
- ・コース全員が受験をする大学入学共通テストで全国平均点を目指す。
- ・規律ある雰囲気の中で学習に取り組むことができる学級をつくる。
- ・PBL（問題解決型学習）により、思考力・判断力・表現力を身につけさせる。
- ・各種検定試験の受験、合格者数を増やす。
- ・放課後補習・集中講座や、きららラボを活用し、主体的に学習に取り組む習慣を身につけさせる。
- ・大学の訪問やコメディカル職員の方々のガイダンス、講話、本校の衛生看護科の取り組みの見学等の機会を設定し、進学に対する意識や職業観の醸成をめざす。
- ・進学先の確保のために、各教科・科目担当者で行う検討会を実施する。また、そのデータを蓄積する。

特進コース

- ・難関大学へ受験、進学できる学力を身につけさせる。
- ・コース全員が受験をする大学入学共通テストで全国平均点を目指す。
- ・規律ある雰囲気の中で学習に取り組むことができる学級をつくる。
- ・PBL（問題解決型学習）により、思考力・判断力・表現力を身につけさせる。
- ・各種検定試験の受験、合格者数を増やす。
- ・放課後補習・集中講座や、きららラボを活用し、主体的に学習に取り組む習慣を身につけさせる。
- ・各教科・科目担当者で行う情報交換会を実施し、そのデータを蓄積する。

スポーツ特進コース

- ・スポーツの専門知識を科学的に学び、運動技量や体力を合理的に向上させる。
- ・国語・英語を強化科目とし、大学進学に対応できる学力を身につけさせる。

- ・心身の健康やアスリートとして必要な栄養や食事の摂り方について理解し、自ら管理していく能力を身につけさせる。
- ・スポーツを科学的に理解させるために「体育理論」「スポーツ栄養学」を学ぶ。
- ・競技種目別の協会などが主催する指導者研修に参加し教員の指導力向上を図る。
- ・スポーツに関わる進路学習もスポーツ講習会を通じて学ぶ。

I類

- ・生徒たちが共に学び合える「いごちのよい」学級づくりを目指す。
- ・多様な進路を実現するために「総合的な探究の時間」を中心にキャリア教育を実施する。
- ・学習習慣の確立、基礎学力(英・国・数)の充実を図る取り組みを行う。
- ・大和野菜など地域の産物、食文化や食について学びながら、良好な食について理解させる。
- ・地域と密着した食にかかわる体験学習を通して、社会性(人間関係形成能力)を身につけさせる。
- ・キャリア教育をテーマとした教員研修を実施する。

子ども教育コース

- ・幼稚園との交流などの体験学習を通して、幼児に対する理解を深める。
- ・保育者としてふさわしい能力を身につけるために、保育技術検定を実施し、1級合格を目指す。
- ・歌唱、ピアノの演奏技術を身につけさせる。

食文化コース

- ・食育に関わる知識や食文化の学びを通して、安全で豊かな食生活を営み、「食」の安全確保や食育に携わることができる。
- ・食物・調理にかかわる基礎知識と技術を身につけるために、食物調理技術検定を実施し、1級合格を目指す。

総合進学コース

- ・基礎学力(英・国)の充実や資格の取得を図り、多様な進路の実現を図る。
- ・大学などと連携して行う、模擬授業・体験的学習を通して、自己の進路目標について考え、実現する力を養う。

②衛生看護科

- ・豊かな自然環境を大切に、学校環境に親しみ、奈良文化高校生としての生徒文化を築き、伝える力を身につける。
- ・看護専門職における実践能力の基盤となる人間関係形成力、論理的思考力、言語・数量・情報において基本スキルを身につける。
- ・プロジェクト学習から実践と座学の統合を図り、テーマに対し探究する経験を通して協働的、主体的に学ぶ力を身につける。
- ・学習および生活全般においてポートフォリオ、ルーブリック評価を用いた形成的評価を行い、生徒が振り返る習慣を身につけるとともに、授業改善のサイクルと位置付ける。

③衛生看護専攻科

- ・科学的根拠に基づいた看護実践能力を身につけさせる。
- ・社会への関心を深め、人々の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
- ・職業人としての倫理観をもって、合理的かつ創造的に解決する力を育成する。

Ⅲ グラデュエーション・ポリシー（卒業認定方針）

《グローバル型 competence の育成》

①普通科

Ⅱ類

看護医療特進コース

- ・コメディカル養成校への進学を目指し、自らの進路・将来像をより幅広くイメージできる。
- ・自らの目標に向け、主体的に学習に取り組むことができる。
- ・クラブ活動へ積極的に参加し、充実したキャンパスライフを送ることができる。

特進コース

- ・難関大学への進学を目指し、自らの進路・将来像をより幅広くイメージできる。
- ・自らの目標に向け、主体的に学習に取り組むことができる。
- ・クラブ活動へ積極的に参加し、充実したキャンパスライフを送ることができる。

スポーツ特進コース

- ・トップクラスの運動技量を身につけ、全国レベルの大会で活躍できる。
- ・スポーツを総合的に理解し、そこでの問題解決に取り組むことができる。
- ・高い学力を有し、有名私大への進学を目指す。

I類

- ・人に対する「思いやりの心」を持つことができる。
- ・自分自身のことを「大切」に思える。

子ども教育コース

- ・保育者として、情操豊かで温かく、思いやりの心を持ち、幼児と接するために必要な知識や礼儀、マナーを身につける。

食文化コース

- ・文化、自然、旬を感じる食として「郷土と食」（地産地消）についての学びを中心に健全な食生活を送るための知識や技術を身につける。

総合進学コース

- ・社会で活躍できるような知性と教養を身につける。

②衛生看護科

- ・地域医療に貢献する看護職として、基礎となる豊かな人間性と倫理観を身につける。

③衛生看護専攻科

- ・「専門的な知識・技術を活用する力」と「職業人として必要な豊かな人間性」を統合することができる。
- ・使命感と倫理観が更に高まり、社会貢献への意欲を強く持つことができる。